

四日市市三浜文化会館 カルチャー三浜 周辺マップ



〔お車をご利用の場合〕

国道1号「日永3丁目」交差点 東へ約5分
 国道23号「海山道一」交差点 東へすぐ
 県道6号(塩浜街道)「大井の川町」交差点 西へ約1分

〔お車をご利用の場合〕

国道1号「日永3丁目」交差点 東へ約5分
 国道23号「海山道一」交差点 東へすぐ
 県道6号(塩浜街道)「大井の川町」交差点 西へ約1分

舞台創造ゼミ「戯曲講座」申込書

フリガナ 氏名			
年齢	歳	性別	申込口座に○をつけてください。
連絡先	TEL	A 長編講座	
	携帯	B 短編講座	
	メールアドレス	C ワークショップ	

舞台経験や劇作に関する経験など(あれば)



令和8年度

戯曲講座

参加者募集

参加者募集



公益財団法人四日市市文化まちづくり財団では、
 実演芸術やアートマネージメントに携わる人材の
 育成や、プロスタッフが指導する
 舞台技術の講座=舞台創造ゼミを
 開催いたします。

戯曲講座では、演劇の脚本=戯曲の創作を講師の指導で行ってまいります！
 劇作家を目指すだけでなく、戯曲の読み方や触れ方を知りたい方、お芝居の楽しみ方を
 知りたい方もご参加いただけます。
 昨年は、長編講座の受講生から、第31回劇作家協会新人戯曲賞佳作に選ばれる作品も
 出てきています。

3年目を迎える本講座は、

- ▶ 戯曲を知る導入講座である「ワークショップ」・「短編講座」
 - ▶ より実践的な「長編講座」
- と、本年度も3種類ご用意しました。

講師には、京都を拠点に演劇活動を続け、各地で戯曲講座も展開されている下鴨車窓
 代表の田辺剛さんを迎え開催いたします。
 多くの皆さまのご参加をお待ちしています！！

	講座名	詳細	対象	人数
A	長編講座	参加者が書きたい戯曲を執筆していきます。 講師とやり取りを重ねながらブラッシュアップを目指します。	経験者	3名程度
B	短編講座	お題を決めて、ワンシーンの戯曲を書いてみます。 講師のアドバイスや、他の参加者の作品も参考としながら戯曲をつくりあげていきましょう。 ※前半の2回は、ワークショップと合同開催をいたします。	初心者	5名程度
C	ワーク ショップ	戯曲の成り立ちを学びながら、構造などの理解を深めていきます。 お芝居の見方がさらに楽しくなるかも知れませんよ。	初心者	問わず

【日程】

	講座名	第1回	第2回	第3回	第4回
A	長編講座 15時30分～17時30分	5月23日(土)	6月20日(土)	7月25日(土)	8月29日(土)
B	短編講座 15時30分～17時30分				
C	ワークショップ 15時30分～17時30分				

【会場】

三浜文化会館 会議室F

【対象・条件】

15才以上で、戯曲に興味がある人
A長編講座・B短編講座 4回の講座に全てに原則参加できる方
※ ワークショップを受講してから短編講座に参加することは、講座全4回の定員に空きがある場合、可能です。

【実施回数】

長編講座・短編講座ともに全4回
ワークショップ全2回

【参加費】

- A： 長編講座 8,000円(4回通し)
- B： 短編講座 4,000円(4回通し)
- C： ワークショップ 1,000円(1回)

※ 初回開催時にお支払いください。なお、講座を欠席した場合の返金はありません。

【応募方法】

講座システムからのお申込み。

講座システムからのお申込みはこちら→



または、申込書に必要事項を記入して、四日市市文化会館へ、郵送・直接持参のいずれかで提出してください。

<必要書類>

A:長編講座のみ講座で改稿したい(すでにできていたり、書きかけの)戯曲、あるいは講座でこれから執筆したい作品の構想(タイトル、登場人物一覧、あらすじなど)を、A4一枚を上限に郵送・直接持参、または、メール info@yonbun.com 提出してください。

※ 四日市市文化会館は現在休館中の為、三浜文化会館内(地域活動室)仮事務所にて営業しています。

※ 申込者多数の場合、<A長編講座>は提出書類による選考、<B短編講座>は抽選によって参加者を決めることとします。

【応募〆切 A:長編講座、B:短編講座のみ】

2026年5月8日(金)締切

※ 定員に空きがある場合は引き続き募集します。

締切後のご応募の際には下記までお問い合わせください。

※ C:ワークショップは開催当日まで受け付けます。

【お問合せ】

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市市文化会館「舞台創造ゼミ 戯曲講座」係
〒510-0845 三重県四日市市海山道町一丁目1532-1
三浜文化会館内 地域活動室
電話:059-354-4501



三年目を迎えられて嬉しいです。すでにこれまでさまざまな方に受講していただきました。リピーターの方もいます。そしてまだ出会っていない方ももちろんたくさんいるはず。再会も新たな出会いも楽しみにしています。初心者の方には戯曲を書く、物語を書く楽しみを知ってもらうためのプログラムを、経験者の方には戯曲を書く苦勞を分かち合う場をそれぞれ用意しています。戯曲を書くのは孤独な作業ですがみんなで作品について対話することでその作業が少し心強く感じられればと思います。ぜひイトコドリするつもりでうまく使ってもらえればと思います。演劇の話を楽しみましょう。戯曲の話を楽しみましょう。それはいまの世の中や、そこに生きるわたしたちの今について立ち止まって考える機会です。暴力がある、悲しみがある、愛がある、喜びがある、あるいはどうでも良い笑いに救われることだって。集っていただいた皆さんに豊かな時間を過ごせてもらえるようわたしも励みます。

田辺 剛 (たなべ つよし)【講師プロフィール】

劇作家、演出家。1975年生まれ。福岡県福岡市出身。京都大学在学中にギリシャ悲劇から三島由紀夫まで東西の古典戯曲を演出することから演劇を始めた。大学卒業後は劇団「t3heater」(しあた一、1999年結成)を経て2004年からは「下鴨車窓」を設立、京都を拠点に現代演劇の創作・公演活動を行っている。2005年に『その赤い点は血だ』で第11回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。2006年秋より文化庁新進芸術家海外留学制度で韓国・ソウル市に一年間滞在し、劇作家として研修する。2007年に『旅行者』で第14回OMS戯曲賞佳作を受賞。また、子ども向け作品『きみがしらないひみつの三人』は、厚生労働省社会保障審議会において令和元年度児童福祉文化財の特別推薦作品に選出された。近年では西日本を中心に戯曲を執筆する講座の講師を数多く務め、初心者から経験者まで受講生の経験に応じた多彩なプログラムを実施している。受講生からの戯曲賞の最終候補者や受賞者も輩出し注目されている。

【受講生作品の主な実績】

- 仁科久美『わたしのそばの、ゆれる木馬』
第28回(2022年)劇作家協会新人戯曲賞 佳作受賞
- 河合穂高『黄色の森』
第8回(2022年)せんだい短編戯曲賞 大賞受賞
- 池山説郎『槍は降る降るひくまの館』
第2回(2022年)西の風戯曲賞 佳作受賞
- 守安久二子『鮭なら死んでるひよこたち』
第21回(2022年)AAF戯曲賞 大賞受賞
- 守安久二子『草の家』
TOON戯曲賞2018 大賞受賞
- 新宮虎太郎『生まれる!』
第31回劇作家協会新人戯曲賞 佳作

